

平成26年度「成長分野等における中核的専門人材養成の戦略的推進事業」 取組成果概要
 【社会基盤分野(コンソーシアム):平成24年～】
 「社会基盤分野の中核的専門人材養成プログラム開発プロジェクト」(日本工学院八王子専門学校)

課題・ニーズ・背景等

●国による全国的なインフラメンテナンスが
始動した

約70万の橋梁と約1万本のトンネルの5年に
1回の全数点検がスタートする。
メンテナンス技術と技術者が求められている。

●建設業の人材不足が進んでいる

技能労働者が408万人(平成4年)から
335万人(平成24年)に減り、就業者の高齢化
(34%が55歳以上)も進んでいる。

●政府は成長戦略において、パッケージ型
インフラの海外展開を積極的に進めている

2020年度までにインフラ輸出を現在の3倍
の30兆円を目標としている。

体制イメージ図

●社会基盤分野

産学官コンソーシアム

職域プロジェクトとの連携をはかり、調整、評価、
アドバイス、課題の抽出を行う

- ・人材養成における方向性の取りまとめ
- ・第三者評価の検討
- ・学習システムの検討

取組の概要

●ヒアリングの実施・解析

- ・産業界の人材養成ニーズ
の把握
- ・企業が求めている学習
システムを調査

●教育のしくみの検討

- ・学習ユニット積み上げ方式
の構築
- ・「学び直し」のしくみの検討
- ・留学生優遇受入制度
の創設

教育設計図
の開発

- ・カリキュラムの開発
- ・学習ユニットの開発
- ・達成度評価基準の開発
- ・実証講座の実施
- ・第三者評価の実施

- ・外国人に日本の
建設ものづくりを周知
- ・若年者のインフラ分野
への就業誘導

●学習基盤の整備

●社会基盤への人材シフト
を促進

成果目標

●教育のしくみの
開発

円滑な人材シフト
をバックアップする
しくみを開発する

●学習基盤の整備

- ・カリキュラムの開発
- ・学習ユニットの開発
- ・教育詳細設計図
の作成

●地域版学び直しプログラムの
開発と実証

社会人及び女性の学び直しプログラムを
開発・実証する

参加・協力機関等

●教育機関

日本工学院八王子専門学校／日本工学院専門学校
日本工学院北海道専門学校／中央工学校
専門学校東京テクニカルカレッジ／
読売理工医療福祉専門学校／東京工科大学／
東京大学／首都大学東京／東京都市大学／
金沢工業大学／職業能力開発総合大学校／
全国高等学校土木教育研究会／東日本建築教育研究会

●関係団体・企業

東日本旅客鉄道株式会社／大成建設株式会社
株式会社大林組／株式会社熊谷組／株式会社久米設計
株式会社オリエンタルコンサルタンツ／日揮株式会社／
東京都下水道サービス株式会社／高砂熱学工業株式会社
株式会社ヤマダ・エスバイエル・ホーム／
公益社団法人土木学会／株式会社イエリ・ラボ／
有限会社リノバイトダブリュ

職域
プロジェクト①

- 次世代国内インフラおよび建設IT技術
における中核的専門人材養成プログラム
開発プロジェクト

職域
プロジェクト②

- パッケージ型インフラ海外展開における
中核的専門人材養成プログラム
開発プロジェクト

職域
プロジェクト③

- 多摩地域 建設に係る
地域版学び直しプログラム開発プロジェクト

平成26年度「成長分野等における中核的専門人材養成の戦略的推進事業」 取組成果概要
【社会基盤分野(コンソーシアム):平成24年～】
「社会基盤分野の中核的専門人材養成プログラム開発プロジェクト」(日本工学院八王子専門学校)

取組内容

①ヒアリング調査の内容・結果

企業が求めている社会人の学び方の調査

②企画・検討

職域プロジェクトで作成した、モデル・カリキュラム、シラバス、学習指導計画表、達成度評価方法、実施した実証講座についてコンソーシアム会議にて検討

③コンソーシアム活動報告冊子の作成

本事業の普及と展開に資するため、3年間の成果を簡潔にまとめたツールを作成

④普及活動

・成果報告会の実施

インフラや海外展開関係企業200社、大学、専門学校、高専など教育機関300社へ成果報告会の案内発送

・成果報告書の配布

インフラ関係企業100社、大学、専門学校、高専など教育機関400社へ配布

・コンソーシアム活動報告冊子の配布

インフラ関係企業100社、大学、専門学校、高専など教育機関400社へ配布

成果(アウトプット)

- ・全国版モデルカリキュラムの完成
- ・「学び直し」に対応したモデルコースの開発
- ・平成25年度に開発した科目(建設エンジニアのコア科目、即時的に人材が求められるインフラメンテナンスなど)の実証
- ・オーダーメイド型実践的職業教育(企業向け)の共通科目の開発と実証
- ・専門学校が日本企業と海外現地企業を結びつける役割を担うことを想定したしくみの開発
- ・地域版学び直しプログラム(地域企業の社員向け、子育て中・後などの女性向け)の開発と実証

成果の活用

【成果の活用】

- ・委託法人設置校の土木・造園科、建築学科、建築設計科の27年度の正規カリキュラムとして一部の科目について活用
- ・高校の模擬授業等にてインフラ教育冊子を活用しインフラの魅力を伝える

平成24年度

- ・スキルスタンダードの整理
- ・モデル・カリキュラムの基本構成を開発
- ・教育のしくみの検討

平成25年度

- ・達成度評価の開発
- ・モデル・カリキュラム、シラバスの開発
- ・「学び直し」コースの設定

平成26年度

- ・第三者評価の試行
- ・教育設計図の開発
- ・留学生優遇受入制度の創設など教育のしくみの一部試行